令和元年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立生涯学習センター
施設所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、生涯学習の振興を図ることにより、市民の文化と教養を高め、市民生活の向上に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1) 生涯学習事業に関する業務 (2) 施設の使用許可に関する業務 (3) 建物及び附属設備の維持保全に関する業務 (4) 施設の総合管理に関する業務 (5) 施設の安全確保に関する業務
成果指標	貸室利用者満足度／事業参加者満足度／貸室利用率
数値目標	貸室利用者満足度：80%以上／事業参加者満足度：80%以上／貸室利用率：各館70%以上
指定管理者名	大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体 【構成員】 (一財)大阪教育文化振興財団 サントリーパブリシティサービス(株)
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室利用者満足度	事業参加者満足度	利用率
数値目標	80%以上	80%以上	各館70%以上
年度実績	平均96.1%	平均92.8%	平均74.2%
達成率	120.1%	116.0%	106.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	565,304	606,115	-40,811
利用率	74.2%	78.8%	-4.6%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	130,249,816	128,013,196	2,745,720	・感染拡大による利用キャンセルに係る既納使用料還付の取扱いに基づき、同費用の補填として業務代行料を追加
	計画	127,504,096	128,013,196		
利用料金収入	実績	146,716,950	159,808,660	-21,328,550	・感染拡大による利用キャンセル増に伴う減
	計画	168,045,500	167,536,400		
その他収入 (自主事業収入)	実績	32,962,022	32,770,460	-783,378	・感染拡大防止のため事業中止による減
	計画	33,745,400	33,745,400		
合計	実績	309,928,788	320,592,316	-19,366,208	
	計画	329,294,996	329,294,996		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	168,673,176	165,754,778	-6,317,712	・効率的な業務執行体制の構築、超過勤務の縮減
	計画	174,990,888	174,990,888		
物件費	実績	127,021,021	121,805,745	-3,560,687	・備品の更新、設備等の修繕に係る経費の減
	計画	130,581,708	130,581,708		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	19,314,543	20,570,613	-4,407,857	・講師謝礼金の見直し等による減
	計画	23,722,400	23,722,400		
合計	実績	315,008,740	308,131,136	-14,286,256	
	計画	329,294,996	329,294,996		

令和元年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室利用者満足度80%以上	120.1%	S	・貸室利用者アンケートにおいて、施設利用の満足度に関する設問に「満足」「おおむね満足」と回答した割合は合わせて96.3%
事業参加者満足度80%以上	116.0%	A	・事業参加者アンケートにおいて、事業の満足度に関する設問に「大変良かった」「良かった」と回答した割合は合わせて92.8%
貸室利用率：各館70%以上	106.0%	B	・2月下旬より感染拡大の影響による利用キャンセルの増加に伴い利用率も減少したが、3館平均年間利用率は70%を上回った

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・効率的な業務執行体制の構築による人件費の抑制、講師謝礼金の見直しによる事業費の節減などを実施	B	・感染拡大の影響等により収入が大きく減少したが、人件費の抑制や事業費の節減等により支出の縮減に努めている

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・貸室利用者アンケートでは、職員の対応は「良い」「おおむね良い」が合わせて97.7%と、利用者に対する平等・公平な対応がうかがえ、平等利用の確保が適切に行われている
事業計画の実施状況	S	・計画以上の事業を実施し、かつ発展的に展開している。市民に多種多様な学びの場が提供され、事業参加者の満足度も非常に高く、その効果は想定を大きく上回っている
施設の有効利用	B	・ギャラリースペースの空き状況を活用して、啓発活動や教育活動に取り組む公共施設や団体との協働による活動紹介パネル展示を行うなど、施設の有効利用が図られている
社会的責任・市の施策との整合性	A	・身近で喫緊の社会的課題である防災・減災を学ぶ教材として地域の学習ニーズに応える防災学習プログラム第2弾の制作や様々な現代的課題に関する学習機会の提供など、生涯学習施設に求められる社会的な責任を十分に果たしている

5 利用者ニーズ・満足度等

・貸室利用者アンケート：11月に館ごとに実施。（各館の有効回答数 総合：399、阿倍野：93、難波：199 計691） 事業参加者アンケート：事業ごとに実施。（各館の有効回答数 総合：5,987、阿倍野：2,134、難波：2,297 計10,418） ・貸室利用者アンケートでは、施設利用の満足度は「満足」「おおむね満足」が合わせて96.3%、事業参加者アンケートでは、事業の満足度は「大変良かった」「良かった」が合わせて92.8%と、顧客満足度の高い安定的なサービスが提供されている
--

6 外部専門家意見

・事業計画が着実に履行され、多種多様な学びの場の提供をはじめ、計画以上の取組みが行われている ・連携事業として、これまでの大学や企業のほかに、新たに専門学校と連携した講座では、学習ニーズをよくとらえた内容で、参加者アンケートにおける満足度が非常に高かった。引き続き多様な団体等との連携・協働に期待する ・新たに制作された防災学習プログラム第2弾は、その第1弾とともに、台風や地震などの自然災害に備えて、地域のみならず学校や企業など様々な場面での防災学習用教材として広く活用され、防災・減災意識の醸成に役立っている
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	・貸室利用者の満足度と事業参加者の満足度は共に目標値を大きく上回り、利用率についても感染拡大の影響を受けたが目標値を上回った
市費の縮減	B	・感染拡大の影響等により収入が減少したが、支出の縮減により収支差の拡大抑制に努めている
管理運営の履行状況	A	・貸室利用や事業参加に関する満足度のみならず、職員の対応に関する満足度も高く、安定して高い水準のサービスが提供されている ・当初の計画を上回る事業が実施され、かつ発展的に展開されており、本市の生涯学習施策の推進に大いに貢献している ・施設の設置目的をよく理解し、本市が生涯学習施設に求める社会的責任を十分に果たしている
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	